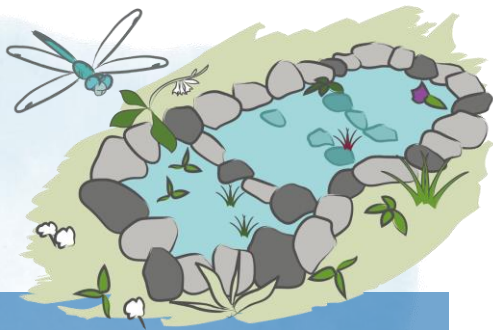


# 加賀電子ビオトープ NEWS

- 第8号 - 2025年10月の調査報告



## \* TOPIC \*



### トチカガミの「殖芽」

秋も後半を迎え、加賀電子ビオトープの生きものたちは冬備えを始めています。絶滅危惧種のトチカガミを観察すると、実のようなものをたくさんつけていました（写真）。これは種子ではなく「殖芽」といい、栄養を蓄えた芽です。来春には、ここから芽や根がでてきます。

## \* 今回の調査で見つかった生きもの \*



幼虫



成虫



ギンヤンマ



アザイトンボ



コナギ



イヌタデ

ビオトープ完成から2年半が経過し、確認された生物は動物・植物合わせて39種になりました。特にトンボ類は、4種がここで繁殖していることがわかっています。加賀電子ビオトープは、大都市のなかで生物多様性を保全する拠点のひとつとして、しっかり機能しています。

## \* COLUMN \*

### ビオトープに鳥は来ているか？

加賀電子ビオトープは、様々な生物が利用しやすいように設計されており、最も浅い部分はシジュウカラなどの小鳥が水浴びできるよう水深1~2cmで維持しています。10月の調査では、屋上で初めてハクセキレイを観察し、ビオトープで水浴びや採餌をしてくれるか期待して見守りましたが、その場面は見られませんでした。ただ、調査員がいない時間帯に利用している可能性もあります。もしビオトープで野鳥の水浴びや採餌の様子を見かけた方は、サステナビリティ推進部までぜひお知らせください。



調査・監修  
NPO birth 久保田 潤一



これからも地域の自然を大切に、  
人と自然がずっと仲良く暮らしていける社会を作っていきましょう！

発信：加賀電子(株)サステナビリティ推進部